

国営公園をフィールドとした 技術実証に向けた提案を 募集します!

自然や歴史・文化に親しみながら四季の景観やさまざまな体験を
楽しめる都市公園を、さらに魅力的で快適な場所とし、
持続的な管理運営を実現するための技術や取組を募集します

国営公園とは？

国営公園とは、都市公園法に基づき、広域の見地から多様なレクリエーションの需要に対応する（イ号）、また、わが国固有の優れた文化的資産の保存及び活用を図るため（ロ号）、全国17公園において国直轄で整備及び維持管理を実施している公園



[参考HP（国土交通省）] https://www.mlit.go.jp/toshi/park/toshi_parkgreen_kokuei.html

応募フロー

※①～③に係る費用は全て応募者負担となります

※今回はプレゼンテーションの選定であり、実証の実施を決定するものではありません

①

応募申請書の
提出

※国営公園で挙げられている
課題例は裏面参照

②

事務局にて
申請内容の確認
(必要に応じてヒアリングを実施)

選定

③

国営公園担当者への
プレゼンテーション
(11月頃予定)

-応募〆切-
令和7年10月24日(金)

応募詳細は、
ホームページを
ご確認ください



国営公園で挙げられている課題の例

各国営公園の公園管理者から、効率化が望まれている課題の一例についてご紹介します。なお、本募集については、下記以外に都市公園の管理運営や魅力向上に資する内容についても広く募集いたしますので、参考程度としてください。

国営公園において効率化が望まれている内容と解決例

施設点検・管理作業等

- 広大な敷地内での目視確認や現地作業
 - 園内巡視、清掃、除草、芝刈り
 - 害獣侵入防止対策の防止扉・罠等の監視
 - 園内施設・遊具等の点検 など
- 施設点検後の管理台帳更新
- 紙媒体でのやり取り・押印・保管（日報・月報等）
- 公園の管理運営のノウハウの継承

・人手での施設点検にドローンを活用



国営讃岐まんのう公園

・点検結果を施設情報とデジタルに紐付け



国営越後丘陵公園

利用状況等の収集・整理

- 入園料・駐車料金の徴収・管理
- 入園者数の管理
- 密集時の遊具の利用者数管理・制限
- 植物の開花情報の把握、情報発信
- 混雑時の渋滞状況の把握、情報発信
- 利用実態や利用者満足度の把握



・キャッシュレス決済や自動ゲートの導入

国営昭和記念公園

利用者向けサービスの拡充

- 移動手段の提供
- 園内の位置情報やイベント情報をまとめた情報発信
- 史跡の価値提供
- 回遊性の確保
(特定のスポット・時期への利用者の集中回避)
- 飲食施設の充実
- 通信環境、無料Wi-Fiの充実

・園内移動における自動運転の走行、史跡情報のVR体験



国営飛鳥・平城宮跡歴史公園

※上記は各公園から挙げられた意見を整理したものであり、全ての国営公園に共通する課題を示すものではありません。

応募対象者

民間企業、大学、研究機関等で、単独または共同により技術を開発または研究している組織

応募を求める技術

国営公園における持続的な管理運営や魅力向上に資する技術・取組
※上記に記載されている項目以外の課題の解決につながる技術提案も受け付けております。